



Q168. 性に関することはタブーなの？



A. 人にとって、とても大切なことなんだよ。

「自分とはどういう人間なのか」

この言葉で検索をかけると、心理学や性格判断がたくさん出てきて、最終的には哲学の分野に入っていくよ。

この「自分とはどういう人間なのか」という問題を考えるきっかけになるものが「性」と言えるんだ。日本語ではセクシャルを連想させがちな印象のある「性」という単語だけど、さまざまな意味を持っているよ。

もともとは「人が持って生まれたもの」という意味があって「性格」「性質」などがそれに当たり、また物事に備わった性質、という意味があり「性能」「感性」と使われている。

持って生まれたもの、というところから男女・雌雄の区別としても用いられて「女性」「男性」「異性」のように使われて、その「異性」を求める働きに関して「性欲」というふうを使うよ。

名詞の下に付くと性質や状態、程度なんかを表していて「有効性」「即効性」ということになるんだ。

ここで考えてみようとしている「性」は「セクシュアリティ」ということだよ。

適当な日本語の訳語が見つからない言葉なのだけれど、広く「人間の性のあり方」と捉えていくことにするよ。

上記にもあるように「性」という言葉には、持って生まれたものや考え方、行動などが含まれているからね。

「セクシュアリティ」という言葉は「さまざまな性のあり方」を表している言葉だよ。

これはとりもなおさず「性の多様性」と言い換えられるかもしれない。

人がそれぞれ個々に持つアイデンティティのことを言うんだね。

2021年の「紅白歌合戦」のポスターがグラデーションになっていたよ。

「赤 = 女性」「白 = 男性」とされていたものが「赤から白へのグラデーション」というデザインだったんだ。

そのときのテーマが「Colorful～カラフル～」で「多様な価値観を認め合おう」も意味に含まれていたからだね。

これまでは「ジェンダーバイナリー」と言って「性には男か女しかない」ということが普通とされてきたよ。

だけど、自分がそこに分類されることに違和感を持つ人たちが確実に存在しているけど、その人たちがヘンっていうわけでもない。

でも、こうしなければ、や、こうでなければ、というバイアスを持っている人たちにとっては「変」「異分子」となってしまうんだね。

「セクシュアリティ」というのは、性に関わる、人がそれぞれ個々に持つ人格に欠かせないものなんだ。

生物学的な性、精神的な性、性的指向、性的嗜好など、関連する様々な概念を含んでいる。性に関する行動や傾向のすべてが含まれている言葉なんだ。

「セックス(SEX) = 生まれたときの性(身体性)」

「ジェンダー(Gender) = 社会的な性」

「セクシュアリティ(Sexuality) = 性のあり方」

「セックス(SEX) = 生まれたときの性(身体性)」というのは「男／女」や「オス／メス」で分別される身体的特徴や生理的特徴の違いを指しているよ。

生理上の違いというのは、生殖器官や染色体、ホルモンといったところだね。

通常は生まれたときに割り当てられているんだ。

セックス(SEX)は、基本的には、女性、男性、インターセックスに分けられているよ。

XX染色体を持ち、女性の性器と生殖体を持つ人たちを「女性(Female)」と呼ぶ。

XY染色体を持ち、男性の性器と生殖体を持つ人たちを「男性(Male)」と呼ぶんだ。

XXY染色体などを持っていて、女性や男性のカテゴリーに入らない性器や内臓を持つ人たちを「インターセックス(Intersex)」と呼ぶよ。

インターセックス(Intersex)は、「女性や男性以外の性」や「中間の性」を指す言葉ではないよ。

身体的な特徴が、一般的に「女性／男性」とされる状態に当てはまらないこと、を意味している言葉だよ。

なので、性自認(ジェンダーアイデンティティ) = こころの性、とはなにも関係がないよ。

今回は、この性自認(ジェンダーアイデンティティ) = こころの性、を考えるまえに知っておきたい

「[ジェンダー\(Gender\) = 社会的な性](#)」を考えていきたいと思うよ。

《MENU》

《[メンタルヘルスケアというのは？](#) [ジェンダー\(Gender\) = 社会的な性って？](#)》

放課後等デイサービス支援事業
Support Project of
Day-service for After-school
At Kyoto

2024-01-29 掲載